

「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」

～多様な語句の意味を理解し、場面に応じて適切に使う～

事象や行為などを表す多様な語句について、場面や状況に応じて適切に使うことに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、日常生活や社会生活の中で出合った語句に関心を持ち、その語句を他の人に紹介する学習を提案します。身の回りにある様々な語句に着目し、その語句の意味を調べたり、どのような場面でどのように使うのかをスピーチを通して紹介し合ったりすることで、多様な語句とその使い方について理解を深めることを狙いとしています。

課題の見られた問題の概要と結果

A9 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

A9五 正答率 **36.5%** 話し合いの記録として適切な言葉を考える。

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕伝国(1)イ(ウ)

授業アイデア例

第1時

(授業前の生徒の準備) 学校生活の中やテレビの報道、新聞などから、「自分が使ってみたい語句」をノートに書き留めておく。

① ノートに書き留めてある「自分が使ってみたい語句」の中から、他の人に紹介する語句を決める。



教師

自分が使ってみたい語句を一つ取り上げ、スピーチをして紹介しましょう。取り上げる語句については、辞書などを使って意味を調べることができる語句かどうかを考えて選びましょう。また、実際に語句を使う場面や具体的な使い方も紹介できるようにしましょう。

書き留めてある語句の例

- (学校生活の中から) 「承認」, 「否認」
- (新聞の見出しから) 「激闘」, 「歓喜」
- (季節の言葉から) 「花あかり」, 「うららかな」など

② どのような意味をもつ語句なのかを調べ、どのような場面で使うのかについて考える。必要に応じて、似た意味をもつ語句などについても調べる。

「快挙」という語句を取り上げたいな。1組が合唱コンクールで優勝したことを表すのに使えそうだな。本当に使えるかどうか意味を調べて確かめてみよう。ほかにも、似たような意味の語句がありそうなので、調べてみる必要があるな。



(国語辞典などで調べた語句の例)

快挙：胸がすくようなすばらしい行為。
痛快：とても愉快なこと。
偉業：立派な仕事。
勝利：戦いに勝つこと。

③ 語句と使う場面とが合っているかどうかをペアまたはグループで検討する。



似た意味を表す語句でも、場面や状況によってどの語句が適切であるかを検討することが大切です。

「偉業」は、「立派な仕事。」という意味だね。合唱コンクールでの優勝も立派だけど、「偉業」は少し言い過ぎではないかな。

「痛快」は、「とても愉快なこと。」を表すのだね。周りの予想に反しての優勝だから使えないことはないけど、勝って心が晴れやかになったことを考えると、「快挙」の方が適切だと思うな。



第2時

④ 使う場面や具体的な使い方とともに語句を紹介する。

(スピーチの例)



快挙

私が紹介する語句は、新聞記事の中で見つけた「快挙」という語句です。「快挙」は「胸がすくようなすばらしい行為。」という意味です。「あまり目立った活躍がなかった1組が、合唱コンクールで快挙を成し遂げました。」というように使います。「優勝しました」と表現するよりも、勝って心が晴れやかになったことが表現されていると思います。ちょうど今、特別活動で合唱コンクールについて振り返る文章を書いているので、実際に使ってみたいです。

本授業アイデア例

活用のポイント!

- 調べた語句の意味と使う場面とを記載した語彙集を作成する学習活動も考えられる。